

科目No.	関連講座GR585	科目名	昆虫と感染症の歴史				副題	昆虫が世界の歴史を変えたー昆虫にそんな力があるのか？			
連携機関名	防疫薬総合管理研究会	水準	中級	教室定員	0	配信定員	30	講義日時	毎月第1水曜日 19:00-21:00	拠点 (開講機関)	リモート・ 兵庫川西 (知の市場)
科目概要(300字)	蚊やノミやシラミなどの昆虫は爪の上に乘せてパチンと潰せるほどの小さな存在である。17世紀の中頃、その小さな存在であるノミが媒介したペストがロンドンで大流行した。当時のロンドン市民の10-15万人(約26%)が亡くなり、イギリスの封建制度崩壊を早めた。12世紀の終わり頃、蚊が平家の棟梁・平清盛をマラリアで死なせ、栄華を極めた平家を壇の浦の海底に沈めて滅亡させた。また、19世紀の初めのナポレオンのロシア侵攻の際に、シラミに襲われたナポレオン軍は約21. 9万人(36. 5%)が発疹チフスで病死し、ナポレオンのロシア侵攻という野望を打ち砕いた。このように世界の歴史を変えるほどの大きな力がある昆虫の姿を検証する。										

科目構成	No.	講義	講義概要(150字)	講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
アレクサンドロス大王帝国の崩壊	1	蚊が媒介するマラリアが帝国の分裂と崩壊を誘発	紀元前336年に父王フィリッポスⅢの急逝により20歳で王位を継いだアレクサンドロスⅢは、西はギリシャ、エジプトから東はインダス川に至るまでの広大な大帝国を築いた。百戦百勝であった彼も最後は蚊に命を奪われて大帝国は分裂し崩壊に向かった。	2023/10/4	Zoomを活用してリモート開催。	安部八洲男	安部八洲男	防疫薬総合管理研究会 代表
平家の滅亡	2	蚊が媒介するマラリヤが平家の栄華の幕を閉じた	従一位太政大臣まで登りつめた平家のリーダー平清盛は蚊に刺されてマラリアに罹り64歳で亡くなった。栄華を誇った平家も清盛没後わずか4年で壇の浦の海の底に滅亡した。	2023/11/1				
イギリスの封建制度の崩壊	3	蚤が媒介するペストが英国封建制度の崩壊を促進	17世紀の中頃、突如、蚤が媒介する感染症であるペストがロンドン市民を襲った。2年余りのペストの大流行でロンドン市民の10-15万人(約26%)が亡くなった。この深刻な人口減少は農業労働者(農奴)の大幅な不足となり、イギリスの封建制度の崩壊を早めた。	2023/12/6				
ナポレオンの没落	4	虱が媒介する発疹チフスがロシア侵攻の野望を阻止	西ヨーロッパのほぼ全域を支配下に置いたフランス皇帝ナポレオンは、総勢約60万人という大軍でロシア侵攻を開始した。パリを出発して約1カ月後からシラミの攻撃により発疹チフスが流行した。ロシア軍に敗退して後、パリに帰還できたナポレオン軍の兵士はわずか約4万人であった。	2024/1/31				
徳川幕府の終焉	5	蚊がもたらした明治維新への大きな影響	265年続いた徳川幕府を倒して天皇を中心とする明治新政府を樹立した立役者のひとりが西郷隆盛と言える。封建政権を倒したリーダーが次の新政府のリーダーに成るのは歴史上の事実である。ところが西郷は全ての地位を投げ打って薩摩に帰ってしまう。何故であろうか？その背景を考えてみる。	2024/2/7				
日本の蚊遣りの歴史	6	蚊燻しから電気蚊取り器へ人間と蚊の戦いの歴史	「蚊燻し」は人々が穴居生活をしていた時代から虫除けに使っていた。明治時代に入って殺虫成分ピレトリンを含有した蚊取線香が発明されるまで庶民の蚊対策は蚊遣火、蚊帳、祈祷、呪い、あるいは団扇で追い払うくらいがたよりであった。それが今では電気蚊取り液、ファン式蚊取り器などの多彩な蚊取り器が開発されている。	2024/3/6				